

財団からのお知らせ

新刊紹介

海のへんな生きもの事典
ありえないほねなし

ひとでちゃん（著）
ワタナベケンイチ
（イラスト）
四六判，2024.3，
山と溪谷社
本体1600円＋税

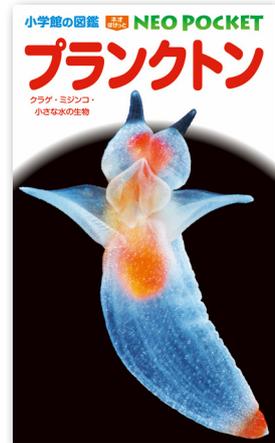


ほねなし（水棲の無脊椎動物）の不思議な生態や特徴がグループごとに分かりやすくイラスト付きで紹介されている。著者は当財団元職員。

各動物の特徴について、貝類の項では「やわらかいのに筋肉ムキムキ」、ウミウシでは「アーティストックな配色の体」など、ユニークで興味深い見出しで紹介してくれる。事典として、様々な無脊椎動物やその特徴を知ることができるとともに、読み物のように楽しめる一冊である。

小学館の図鑑 NEO POCKET
プランクトン

山崎博史（指導・執筆），
仲村康秀（指導・執筆），
田中隼人（指導・執筆）
新書判，2024.6.25，
小学館
本体1000円＋税



水の中にすむ小さな生き物、約500種が紹介されている。

児童向けの図鑑ながら、脊椎動物の魚類に始まり、クラゲ・ミジンコだけでなく、カイメンやケイ藻類から単細胞生物の有孔虫まで、プランクトンの多様さを知ることができ、大人でも楽しめる一冊になっている。

また、「プランクトンを集めにいこう！」のコーナーでは、採集の仕方から、観察や記録の付け方まで紹介されているので、自主学習にもオススメである。

観察会報告

親子で楽しむ海の生き物「わくわくウォッチング」

5月11日（土）に神奈川県横須賀市にある観音崎自然博物館で行いました。当日は快晴で、参加者は44名（高校生以上29名，中学生以下15名），博物館の皆さんに実施いただき、磯の観察と貝拾いを行いました。磯の観察では、潮が良い日ではなかったにも関わらず、とてもよくひいたため、予定よりも長く、ウミウシを中心に様々な動物を観察することができました。

また、今回、初めて貝拾いのプログラムを行いました。海岸で貝を拾い、博物館に戻ってから図鑑などで調べ、オオヘビガイやウチムラサキ、カリガネエガイなど、さまざまな貝を観察しました。観察会の様子は、当財団のHPにも掲載しますので、ぜひご覧ください。



磯の生物勉強会

茨城県ひたちなか市の平磯海岸で6月8日（土）に実施しました。参加者は中学生以上28名，5団体との共催で、船の科学館「海の学びミュージアムサポート」の特別協力のもと実施しました。磯での観察と採集のあと、海岸で共催団体の専門家が分類群ごとに解説をするという流れで行いました。参加者は磯の生き物で作られているビンゴシートを使って、観察した生き物でビンゴをしたり、目当ての生き物を探したり、それぞれ磯で楽しんでいました。天気もよく暑い日でしたが、青空のもと、解説も真剣に聞いていました。最後に、オプションでハマダンゴムシ探しを行い、充実した観察会でした。

